



ホストファミリー

松井 周星さん（2015年－2016年 コスタリカ）

「普通の高校生活では体験できないことをしたい。」

その一心で私は高校生活の1年間を留学に費やした。

行き先は、コスタリカ。いったい今どれほどの人がこの中米の小さな国を知っているだろうか。私自身この留学がなかったなら生涯関わることはなかっただろう。

冬の日本を発ち、いよいよその国に到着すると、“季節外れ”の熱風が私を迎えた。

日本とは気候が違うのだ、とはじめて両国の違いに気付いたのはその時である。この瞬間から私はこの国で数えきれないほどの違いを見つけることになった。

広がる大自然、全く私たちと異なる人々、食生活、文化など、見えるもののすべてが今まで見たことも感じたこともない、新鮮なものだった。そして私はそれらに大いに感動した。

そんな中で私に最も強い印象を残したものがある。

それは、人と人との“つながり”である。

私の周りには私を快く迎えてくれた現地の人々がいた。私の受け入れ家庭の家族とその親戚、学校の友達、先生、スポーツ仲間など数えきれないほどの人々が私の留学を後押ししてくれた。

コスタリカの人々は、実に社交的である。

友達や知人にはもちろん、そうでない人にも挨拶などで声をかけることに抵抗がない。困っている人にすぐに手を差し伸べることができる、とても親切な人々だ。

そんな温かい人々と密に付き合ううちに、ふと気づくと、あたかも日本の家族や友人に接するかのように全く自然に過ごしている自分がいた。何もかもが異なる異国に着き、不安を抱いていた時からは想像もつかないことだった。

このようにこの留学は私に思いがけない変化を与えた。それは私が新しい経験をした証であるが、それは決して私一人で成し遂げたことではない。コスタリカという国、そしてその人々と文化と私が相互に関わりあった結果である。

この素晴らしい経験をともに作り上げてくれたすべての人に感謝したい。そして私はコスタリカという国とこれからも“つながり”続けていこうと思う。



ホストスクールの友人たち



AFS の仲間たち